

令和7年度 市民と市長の対話集会 市長と語ろう！あったかミーティング

開催結果報告書

- 1 開催日時 令和7年（2025年）8月5日（火）
午後3時30分から5時まで
- 2 開催場所 横浜ゴム（株）会議室
- 3 参加者 横浜ゴム（株）社員 9人
- 4 テーマ 転入者から見た平塚市の魅力あるまちづくり



※この報告書は事務局で要約しました。

5 主なミーティング内容

【司会】

皆様こんにちは。本日は貴重なお時間をいただきましてありがとうございます。
この市民と市長との対話集会「あったかミーティング」は、今回で89回目となります。

こうして企業に訪問し、社員の皆様と対話をするのは、今回が初めてです。

また、横浜ゴムの関係者の皆様にも多大な御支援をいただきました。

皆様からの御意見は市政に反映させていただくとともに、また皆様にもぜひこれを機会に市政への関心を高めていただけたら、大変うれしく思います。

本日はどうぞよろしくお願いします。

【市長】

平塚市長の落合です。お集まりいただき、誠にありがとうございます。本日は、皆様から忌憚のない、感じていることを是非とも教えていただければと思います。

今、司会からお話がありましたが、平成23年に東日本大震災が発生し、私はその直後に、市長に就任いたしました。ですから、まずは市民の皆様が、まちの安心安全をどのように考えていらっしゃるかをお伺いしようと呼びかけを始めた。それがもう89回を数えるまでになります。

実は、先ほど、御社の会長にも申し上げてきましたが、一昨年、本社を平塚市に移転していただきまして、改めて横浜ゴムの皆様にお礼を申し上げたいと思います。

横浜ゴム・平塚製造所は長い歴史がありますが、国内を代表する企業が平塚を拠点に操業・営業されることは、本市にとって誇らしく、とてもありがたいことです。

さて、これまで市民の皆様から様々なお話を伺って、それを政策に反映できればと、このミーティングを続けてまいりました。

今回は、平塚で働く皆様、それも平塚に転入していただいた方々にお集まりいただきました。更に、今日はお子さんもいらっしゃる中で、こういう話し合いができるのは本当にうれしく思っています。

今回のテーマは、「転入者から見た平塚市の魅力あるまちづくり」です。子育てのこと、産業のこと、福祉や介護のこと、そういうものに対する不安など、皆様を感じていらっしゃることで、平塚はこういうまちになったらもっとよいということをごさくばらんに聞かせてください。

皆様の御意見もいただきながら、「これからも平塚に住みたい」、「平塚にずっといたい」、「平塚の魅力をもっと感じたい」と思っているまちづくりを、しっかりと進めていきたいと考えておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

今お配りした、私の名刺に「あったか ひらつか」というロゴマークがあり、裏面にその意味を記してあります。

御存じのように平塚は1年を通して気候が「あったかい」。

それから、平塚は、エリアごとに文化や歴史が集まっているまちです。例えば福祉の面では、高齢者や子どもたちを地域で見守る、例えば町内福祉村や子育て支援の様々なNPO団体、子ども食堂などがあります。人と人とのつながりがあり、人を支える「あったか」が平塚にはあります。

そして、「平塚には、こんなに素敵なおところもあるんだ」という気づきの「あ

たか」もあります。

この3つを掛けて「あったか ひらつか」というスローガンをつくりました。

このロゴマークは全国に募集をかけ選ばれたもので、広島的女性デザイナーの方が考案してくださいました。やわらかくて温もりのある感じがして、とても素敵だと思いませんか。

このスローガンとロゴマークを基に、平塚のあたたかさを生み出しながら、皆様のように平塚に来ていただき、楽しんでもらって、快適で生活しやすいまちづくりを進めていきたいと考えています。

この取組の紹介をさせていただき、冒頭のごあいさつとさせていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。

■移住後の平塚のイメージ、困りごと■

【司会】

移住後の平塚のイメージや困りごとなどがありましたら教えてください。

【参加者】

本社移転を聞いて、平日に仕事をするということには変わらないと思っていましたが、休みの日に会ったりする友人のこととか、コミュニティの中心が都心部にありましたので、土日にやることがなくなる心配がありました。

【参加者】

都心を離れて、東海道線に乗っているときには小旅行というくらい距離があると思いました。

【参加者】

私もお二人と似ているのですが、バンドをやっていて、プライベートの拠点が都内にあります。こちらへ来て、毎週都内へ行く交通費がかかってしまう。それで「遠いな」と思いました。

【参加者】

私は、もともと出身が神奈川なので、平塚に来ること自体、あまり違和感はありませんでしたし、コミュニティも神奈川が多かったので、そんなに困ることはないと思ったのですが、今、住んでいるところが平塚の少し北の方なんです。5分くらい歩くと360度周りが田んぼで、そこは正直意外でした。

【参加者】

私は長崎出身なので神奈川って都会に来たと思っていたのですが、家の周りが田んぼだったり、牛がいたり、「結構長崎と同じ」と思いました。

田舎だから気に入っているところは、富士山が麓の方まで大きくきれいに見える、そこはとても良いことだと思っています。

【参加者】

バスの本数は多いのですが、どこに行くにもバスを乗り継いで行くのが結構辛くて、車を買うことを決意しました。

【参加者】

私は移転に伴う転入ではなく、就職に伴って平塚へ来たのですが、平塚は湘南地域ということでサーフィンなどが盛んなのだろーと思ひ、それを楽しみにして就職したということも半分あります。平塚は、湘南＝海のイメージです。

【市長】

海岸の状況はイメージどおりでしたか。後ほど御紹介したいと思ひていますが、10月に海の総合公園ができるので、また海のイメージが上がるのではないかと思ひます。

【参加者】

「湘南」というと茅ヶ崎や平塚、藤沢という括りで見ていたので、平塚は海のイメージがあります。

■平塚での買い物環境、名産品■

【司会】

食料品や日用品の買い物は市内で足りているようですが、市外に出かけるのはファッション関連の目的でしょうか、それともほかに理由がありますか。

【参加者】

化粧品です。東京に行かないまでも横浜で買おうというものがいくつかあります。

【参加者】

転入したばかりの頃は美容関連の施設が少ないかなと思ひました。あとは映画館が少ない。茅ヶ崎とか他市へ映画を見に行ってしまう。

【司会】

事前アンケートでは、「平塚の方が贈答品に困らない」と書いてくださった方もいらっしやいました。市内には名産品が結構あります。名産品について、市長から紹介いただけますか。

【市長】

昭和60年頃から、平塚の郷土を代表するお菓子や工芸品を「名産品」として指定して、平塚市の魅力を発信しています。

現在、名産品が22品目指定され、トマトジュースや、シラスを乾かして板状にした「たたみいわし」、「相州ダルマ」などがあります。ダルマは高崎ダルマに起因していますが、昔は3軒あったダルマ屋さんですが、今は1軒でつくられています。

また、平塚は県内でも田んぼが多く、お米や農産物が豊富に収穫できるまちです。特に「はるみ」というお米は、5年ほど前に食味において特Aを2年連続で受賞した品種のお米です。「はるみ」はコシヒカリとキヌヒカリをかけ合わせてつくられたもので、冷めても美味しいと言われています。また、花き栽培が盛んで、バラを始め、野菜ではトマト、キュウリなどを「特産品」として指定してPRしています。

平塚は自然が豊かで、美味しいものが取れて、JAが運営する「あさつゆ広場」では地元の美味しい農産物がたくさんありますので、ぜひ楽しんでいただければと思います。

平塚は農業だけでなく、皆様も関わっている工業、大きな工場がたくさんあります。そして商業などバランス良く発展しています。

今年、七夕まつりを御覧になられたと思いますが、七夕まつりは、1945年、今からちょうど80年前の7月16日に平塚が大空襲を受けて焼け野原になりました。

5年の歳月をかけて平塚市が復興計画を立て、まちのにぎわいを取り戻そうと仙台的七夕まつりを模範にして始めました。今年で73回を数えます。新型コロナウイルス感染症の影響で2回延期されたので、それがなければ今年で75回でした。

そのような中、商業が発展して商圈が東は三浦から、西は沼津からお客さんが集まってきていました。また、平塚発祥の長崎屋や十字屋、志澤、梅屋といったデパートがありました。

このように、皆様にも支えていただけていますが、平塚は産業が活発で、多くの魅力がありますので、皆様に楽しんでいただけるとありがたいと思います。

■家賃や物価などの安さ■

【司会】

家賃や食料品、日用品などで、物価の安さを感じていますか。

【参加者】

カフェの価格が、コーヒーとお菓子一つで、都内よりも安いと感じています。

【参加者】

家賃で安さを感じます。以前、川崎や東京に住んでいて、その頃と比べると断然安いと思います。

【参加者】

地元産の食料品が安いと思っているのと、スーパーが地元の野菜を種類多く仕入れて安く売っていると感じています。

【参加者】

南側のスーパーが他と比べても安いです。

■平塚市の住環境■

【司会】

空気の良さとか水の良さを感じるという方はいらっしゃいますか。

【参加者】

私は川崎に住んでいたのですが、工業地帯で、大気汚染とか感じていました。妻と一緒に平塚へ引っ越してきて、環境はよくなったと感じています。

■平塚駅周辺■

【司会】

駅について、「もう少しこういうふうにしてほしい」という御意見がありましたらお願いします。

【参加者】

駅前のロータリーについて、買い物で駅前に行くことは少なく送迎で行くことが多いです。朝夕の時間帯、駅前のロータリーがすごく混んでいて、なかなか車を停められない。一般乗用車がもう少し停められる、待機できるスペースが増えるとありがたいです。

【司会】

駅に関しては、現在、将来構想がありますので、市長から説明いただけますか。

【市長】

駅前のにぎやかさに関しては、先ほどもお話をしたように商業が栄えたまちであり、そうした背景から七夕まつりへの取組にも熱が入っていました。七夕飾りに関して有名なカバン屋さんや人形屋さんは、飾りに何百万円もかけて夜景でも素晴らしい飾りをつくってくれていました。近年では、近郊の都市の中では、徐々に力がなくなってきました。そうした背景を踏まえて、ここ2年ほどの間で中心市街地の活性化の構想をつくってきました。

この構想をもとに、中心市街地の活性化に向けた補助金制度を今年から始めました。また、平塚市は7年後には市制施行100周年を迎えます。平塚は歴史の古いまちです。江戸時代から7番目の宿場として栄え、明治時代に東海道線ができて駅前が栄えて、神奈川県内では「市」となったのが横浜、横須賀、川崎に次いで4番目です。古いまちですが、もう一度賑わいを取り戻そうとつくったのが、先ほど説明した将来構想になります。

駅前ロータリーが混雑しているという御意見を頂きましたが、確定ではないものの藤沢駅前のようなペデストリアンデッキをつくって、歩車分離をするような構想となっていて、中心市街地は、これから何年かけて変わっていく予定です。

形だけ変えるのではなく、皆様が望むコスメですとか、ファッション関連の商業機能を生み出していければよいのですが、これは事業者の皆様の努力も必要だと思いますので、商店街の人たちと一緒に汗をかきながら、もう一度平塚の中心市街地

を活性化させたいと頑張っているところです。

■平塚市総合公園■

【司会】

市では、市民を対象としたアンケートを何年かに1回行っていますが、市の魅力を感じるという点では「総合公園がある」ということが1位を続けて取っています。皆様は総合公園について、どのような感想をお持ちですか。

【参加者】

スタジアムの隣にあんなに大きな公園があるところは、ほかでもあまりないと思っています。近くにサッカーしている少年がいるとか、環境はとてもよいと感じています。

【参加者】

私は、高校野球にはまっています。平塚球場でも高校野球をやっているというのを今年知りました。来年は見に行きたいと思っており、総合公園の中に、そういう施設があるのはよいことだと思っています。

【参加者】

総合公園のプールに通っていた時期があって、帰りにその近くで「ポケモンGO」をやるということが習慣化していました。個人的にはすごく好きな場所です。

【参加者】

私の知人が横浜に住んでいるのですが、2歳から3歳のお子さんがいて、平塚の総合公園によく遊びに行っていると聞いています。私も一度、姪っ子を大きな遊具のところに連れて行ったことがあります。1日中クタクタになるまで遊びました。うちの子どもが大きくなったら連れて行きたいと思っています。

【参加者】

私は趣味でスポーツをやっていて、終業後に一度家に帰ってご飯を食べた後、夜間に総合公園へ行って練習していたことがありました。私の地元は大阪なのですが、夜の公園はとても危なくて、それと比較すると平塚は治安がよいと感じました。路面も掃除されていて綺麗です。

■ひらつかシーテラス■

【司会】

次に、「ひらつかシーテラス」について、市長から案内いただけますか。

【市長】

ここまで皆様のお話を伺って、平塚に来て、お子さんを育ててもらって、総合公

園を御利用いただいておりますが、総合公園ではプロスポーツも開催されています。

特にベルマーレが有名ですが、バスケットボールのBリーグの横浜ビー・コルセアーズというチームが総合体育館を使って年に何回か公式戦をやっています。

また、野球場は、今は横須賀へ行ってしまったのですが、昔はベイスターズのファームの球場だったのです。今でもイースタンリーグの試合が年に何試合か平塚で開催されて、市内の小学生は「ドリームパスポート」といって、事前申請いただければ、このイースタンリーグの試合や、ベルマーレの試合、横浜ビー・コルセアーズの試合を無料で御覧いただくことができますので、ぜひ活用してください。

先ほど、高校野球の話がありましたが、総合体育館はバスケットの聖地です。人気のバスケットボール漫画にも出てきますが、バスケットのインターハイ予選の県内の決勝戦は今でも総合体育館で行っています。

平塚には国際姉妹都市が2つあって、一つはカンザス州のローレンスというところなのですが、そこにはカンザス大学があって、そこはバスケットがすごく強い大学です。そのジェームズ・ネイスミスという人がバスケットボールを考案した人です。そのカンザス大学が全米のバスケットボールで優勝した際に使用したボールが総合体育館の入り口に飾られています。

平塚はいろいろなスポーツが盛んなまちですので、機会があればぜひ見てください。

【市長】

先ほど、「湘南といえば海」という御意見を頂きました。平塚にはこれまでもボードウォークや、ビーチバレーが楽しめるビーチパークなどはありませんでしたが、海の魅力を十分に生かしきれていなかったのではないかと思います。

今回、長年親しまれてきた古いプールの跡地を埋め立てて、新たに海辺の総合公園を整備することになっています。

名称を募集したところ、「ひらつかシーテラス」という名前に決まりました。

海を照らすという意味も込められています。

コンセプトは、「ビーチライフベースひらつか」です。3つのベースで人々の日常を豊かにしていくことを目指しています。計画の概要は、資料のとおりですが、スポーツフィールドや芝生広場の整備に加え、プロムナードから新港に向かって道を通します。点を線で結ぶ形となり、海の魅力を感じてもらえることができる施設をつくります。ほかには、イベントスペースや夕日を眺められるシーサイドテラス、地元産のお肉や野菜を使ったバーベキューレストランもあります。マルシェ棟には地元産品を置くお店もあります。

私も工事の途中で、何回か現地を見に行きましたが、本当に素晴らしいロケーションです。10月31日にオープンを迎えますので、ぜひ足を運んでいただいて、平塚の海の魅力を満喫していただきたいと思います。

お越しいただいた際には、市外の方々にもぜひ御紹介いただければ幸いです。

また、この施設の整備にあたっては障がい者団体の方からも御意見を頂きました。

先ほど、総合公園のインクルーシブ遊具の話が出ましたが、平塚は、もともと障がい者の方々に優しいまちです。

ろう学校、盲学校、支援学校が合わせて4校あり、金目地区は、日本で最初に盲学校を設立した方の出身地です。

平塚は昔から福祉や障がいに配慮したまちづくりを進めてきました。そういう意味でも、このシーテラスは障がい者の方々も楽しめる仕組みを取り入れています。

10月31日にオープンいたしますので、ぜひ楽しんでいただきたいと思います。
よろしくお願いいたします。

■平塚に住み続けてもらうためには■

【司会】

次に、平塚に住み続けたいとか、平塚に住むことを友人や親戚にお勧めできるようになるには、どのようなことが大切でしょうか。

【参加者】

子どもが生まれたばかりなので、これから20年、30年は子育ての視点で、保育所とかそういうステップから判断していくと思います。

【参加者】

国道1号線などは、偏った時間に混んだり、駅前のロータリーの話が出ましたが、雨の日が顕著で、ここに通っている方々もバスを使う方が多いと思いますが、雨の日だと多分倍以上の時間がかかってしまう。

私は群馬出身で、田舎なので電車を使うことがあまりありませんでした。完全に自動車生活でしたが、平塚だと都心から近いので車と電車を使う割合が極端に離れ過ぎないところが渋滞を生んだりするのかなと思います。車に振り切れない部分があるのかと。

【参加者】

高速道路は結構便利だと思います。北に行くときは圏央道でスムーズに行けますし、仕事柄、東名高速で富士などに行くことが多いのですが、都心の方に帰ってくると、たいてい厚木の辺りから混みますので、その渋滞を避けられるのは助かります。

遊びに行くときにも便利だと思っています。

【参加者】

まだ子どもがいないので、子育てに関しては、よくわかっていないのですが、今後、子育てをする時に気になるのが、治安というか雰囲気、中高生を見ると、少し不安になるところがあります。ですので、学校の雰囲気などはどうなのかなと漠然と思っています。

【市長】

私は市長に就任して15年ほどになりますが、平成23年当時は「危ないまちだから市長、なんとかしてほしい」というお話を頂くことができました。七夕まつりの際に事件があったこともあり、その影響で危ないまちというイメージがついてしまった部分もあったのだと思います。

また、20年、30年前には若い人たちが七夕まつりを目指して集まり、喧嘩をするということもありましたが、今ではそうしたことは全くなくなりました。

皆様が感じている不安は、体感治安と言われ、現状では数値の上から見ても危な

いまちではなくなっています。ですから安心していただきたいと思っています。

ただ、平塚は平らな場所が多く、自転車での移動が非常に便利なまちです。それに伴い、自転車の盗難の件数が多いという課題があります。この自転車の盗難がなければ、さらに上位に入るほど治安がよくなってきていることを理解していただければと思います。皆様、自転車を停める際には、しっかりと施錠してくださいね。

【参加者】

私は、本社が新橋にあった頃から平塚は良いまちだと思っており、元々平塚に住みたいと考えていました。実際に暮らしてみると、栄えているのは国道129号線沿いで、移動するのに20分ほどかかります。ショッピングモールなどを、もう少し市の西部にもつくってほしいなと思います。また、大きなプール施設をつくっていただけると、子どもがいたら楽しいかなと思います。

ほかには、駐車場付きのマンションは駅に近づくとも価格が上がってしまいます。結果的に、駅から20から30分ほど離れたところに住むことになり、移動手段がないと苦労することになってしまう。

渋滞が結構あるので、通勤時間帯のバスは1、2本早めの便に乗るようにしています。

【参加者】

私が横浜ゴムを選んだのは、「湘南で働ける」というイメージがあり、サーフィンをやってみたいとか、そうしたい思いがあり、今、平塚に住んでいます。

実際に住んでみると、山にも近いしキャンプができる場所も近い。実は、品川に住んでいる友達にも「平塚はいいぞ。」と言って勧誘したりしています。

やはり、車社会なので、通勤時間帯の渋滞が激しい。バスで通勤していますが、駅方向への渋滞がひどくて、難しいとは思いますが、こういうことが改善しないかなと思っています。

基本的には私は平塚が好きです。

【参加者】

私は2年前に会社の借り上げ住宅へ引っ越してきて、夫婦同じ職場だったので、駅に近い場所でもなくてもよくて、駅からは多分歩けない距離、バスで10～20分の所に住んでいます。ただ、配偶者の方が都内とか横浜方面で仕事をされている方だと、駅近の住まいでないと不便だし、駐車場がないと困るということで、同僚からもなかなかよい物件がないと聞いています。子育てなど生活しやすいまちだと思うので、駅近でよい物件の整備が進むともっと住みやすいまちになると思います。

【参加者】

私も平塚は住みやすいところと感じています。子どもが生まれて気づいたことがあって、家の周りの道路に歩道がなくて危ないです。ほかに、一時停止で止まらない車も見かけます。

子どもを産むときに気づいたのが、人が多いわりに病院が少ないです。産婦人科の選択肢が少なく、私は子どもを産むときには市外の病院を選びました。小児科も少ないので、もっと病院があってもよいと思いました。

もう一つ、「人を呼ぶ」という意味では、せっかくJリーグのチームがあるのに、

もっと盛り上がってもよい気がします。地元の長崎では、試合がある日に外へ出ると、「今日、ホームで試合がある」というのが雰囲気でわかる。総合公園が広いということもあるのかもしれないけど、浦和戦とかでないと感じにくいことが多い。

うちの会社も駅から競技場までの途中にあるので、もっと盛り上がるようなコンテンツを出せないものかと思います。もっと盛り上がりが欲しいと個人的には思います。

こちらに来て驚いたのは、北の方に住んでいるのですが、お神輿をよく見かけます。若いお兄さんたちが盛り上げていて、あのような雰囲気が令和の時代にもしっかりと残っていて、すごく素敵だなと思います。

【参加者】

私は2年前に主人と一緒に平塚へ引っ越して来ました。マンションに住んでいますが、通勤は便利です。子育てについても総合公園があったり、家の近くにも公園が2つ、3つありますので、便利です。

【参加者】

平塚は、ここ10年くらいで、より住みやすいまちになっているんだろうなと感じていて、大きな公園があり、大型商業施設も開業して、個人的にお勧めできるまちだと思っています。

妻と二人暮らしなので、外出する際に選択肢が増えるというのは、よいことだと思っています。

東海道線沿線で藤沢や辻堂で遊ぶことがあるのですが、駅はブランディングがしっかりしていて、おしゃれだと個人的に感じています。

大型商業施設で遊ぶ場所はあるかもしれませんが、駅前のブランディング力があまり強くないのかなと感じています。駅のデパートにドーナツなどの繁盛店ができたとか聞くと、「頑張ってるな」とは思うのですが、藤沢や辻堂と比べると、少し弱いと感じています。

高級感と言いますか、若者が魅力を感じるような要素において、平塚は弱いのかなと感じています。

【参加者】

今までの話の中で、私が気になったことが3点あって、「自転車」と「治安」と「お祭り」です。

私の家の近くに神社があって、よいイメージではなく、悪いイメージなんですけど、太鼓の練習音が夜7時から10時頃まで2週間ほど続くことがあり、3か月に1回くらいの頻度で行われているような印象です。人によっては騒音と感じ、嫌な人は嫌だと思っています。

治安は、平塚に来る前から気になっていて、悪いイメージがあります。例えば子育てをするのに親同士が付き合わなければいけないですが、若干嫌なイメージがありました。

最後は自転車ですが、こちらに越してきた最初の頃、会社まで30分くらい歩いて通勤していましたが、その間に2回、自転車の事故を見ました。1回目はトラックと男子学生がぶつかり、2回目は女子学生がコンビニに入ろうとした乗用車とぶつかりました。私自身も車を運転している時に、自転車と接触しそうになったこと

がありました。とにかく、先ほどの話にもあったように、自転車の利用が多い一方で、交通ルールが守られていなくて、かなり危険な状態になっていると思います。

【参加者】

私は、平塚に長く住んでいますので、すっかり居心地がよくなってしまい、皆さんのように意見を出すことができません。

しかし、お勧めがありまして、今は夏で暑い時期ですが、秋になると、総合公園のメタセコイヤの並木が大変見事です。

「メタセコイヤ」「並木」「平塚」で画像検索すると、壮大なメタセコイヤの並木写真が出てきます。場所はプールと体育館の北側ですので、ぜひ行ってみたいと思います。

また、平塚には美味しいものがたくさんあります。私自身、会社に入って25から30キロほど体重が増えてしまい、元に戻れなくなってしまいました。平塚の美味しいものの魅力発信はまだまだできると思っています。

いっぱいある取引先の会社「平塚に行きたい。」と言っていたけるようなまちづくりに期待しています。

それから2023年に本社がこちらに移転しましたが、新橋から来た社員は、新橋で揉まれてお酒もよく飲める人が多く、良い素質を持って平塚に貢献できる社員が多いと思っています。

【参加者】

私はもう年配ですので、平塚市の今後の発展を考えると、若い人たちに平塚へ来てほしいと思います。

特に子育て世代の方々に平塚に来てほしいと考えると、「安心して子どもを育てられるまち」という評判が広まるような取組を進めてほしいと思います。具体的には、教育の無償化や給食費の無償化、子ども食堂など、子どもを安心して預けられる環境づくりなどが必要と思っています。

今回、お話を伺っていて気になったのは、事故などの交通事情や、小児科や産婦人科の医療機関が少ないという点です。元々の土壌はよいところがあると思います。今後は、子育て世代の取り合いのような状況になると思うので、そうした課題の解決に向けて尽力してほしいと思います。

また、神奈川大学の撤退は非常に残念なので、新たな大学の誘致を期待しています。

若い人たちが集まるまちにするためには、おしゃれな要素も必要かもしれませんが、若い人たちが集いたくなるような評判のまちをつくってほしいと思います。

【司会】

ありがとうございます。これだけは伝えたいということがありましたら、お願いします。

【参加者】

私の同僚からですが、駅をもう一つつくってほしいという意見がありました。

【参加者】

パパ育休の話で、平塚市で4月からパパが育休を取ったら、支援金がもらえる制度が始まって、私は夫が育休を取ってくれて、支援金も頂きました。すごくよい制度だなと思っていて、いろんな人に自慢しています。しかしながら、同じ平塚市に住む友達は、旦那さんが育休を取り、里帰りをしたのですが、結果として支給条件を満たせずに支援金がもらえなかったと聞きました。せっかく「パパが育休を取ってね」と促進する支援金で、私も本当に助かったもので、もうちょっと条件が緩和できないものかと思います。

【司会】

それでは最後に市長から感想をお願いします。

【市長】

いろいろと忌憚のない御意見を頂きまして、本当にありがたく思っています。

冒頭でも申し上げましたが、歴史ある横浜ゴムで、この平塚の地で頑張ってくれていることは、市全体にとっても大きな貢献であると感じています。皆様の御尽力に改めてお礼申し上げます。

様々な御意見を伺うことができ、また今日はお子さんも一緒に来ていただいた方や、出産を控えていらっしゃる方もおられます。先ほど、お話がありましたが、これから平塚でお子さんを産んで、子育てをされて、「平塚で生活して良かった」と感じていただけるようにすることが私の責任だと考えています。これからも引き続き、住みやすく、働きやすいまちづくりを進めてまいりたいと思います。

平塚は、実は、昼夜間人口がほぼ同じという特徴があります。

皆様のよう市内にお住まいで市内にお勤めの方もいらっしゃれば、横浜や東京方面に通勤される方、市外から平塚に通って働いている方もいらっしゃいます。このように、市外に働きに出る人と、市内に働きに来る人の数がほぼ同数です。平塚は「職住近接のまち」と言われています。「働きやすいまち＝住みやすいまち」、「住みやすいまち＝働きやすいまち」これが、産業の活性を目指す平塚の取り組むべき施策の一つと思っていますので、皆様から頂きました御意見を参考にして、これからはまちづくりを進めてまいります。

お話しいただいた、パパが育休を取ると、10万円を差し上げるという制度ですが、これは企業の皆様にも御理解いただいて、男性の育休取得を推進するという時代の流れに沿った取り組みです。市役所でも多くの職員が育休を取得しています。今後も生活のしやすさ、子育てのしやすさを一生懸命進めてまいりたいと思っています。

平塚では、お子さんが生まれた時から、健康課というところが中心になって保健師をはじめ、お子さんが育つまで、アドバイスなど、ずっと寄り添っていくことになっていますので、平塚で安心して子育てしていただけたらありがたいなと思っています。

「子育てするなら平塚で」ということで、医療費も高校まで無料となっています。保育士が足りない状況に対応するため、平塚では保育士になるための奨学金を支給しています。ほかに、国の基準だと1歳児6人に対して保育士1人ですが、平塚の場合は子ども4人に対して保育士1人を配置するようにしています。このように平塚では子育て支援に関する質の強化ということをやっています。

今後も皆様の御意見をしっかりと受け止めながら、まちづくりを進めていきたいと思っています。

最後になりましたが、横浜ゴムさんの引き続きの御発展と皆様の御健勝と御多幸をお祈りさせていただきまして、挨拶とさせていただきます。

今日は、本当にありがとうございました。

【参加者】

今日は、こうした場を設けていただきまして、落合市長をはじめ皆さんに感謝申し上げます。

私が今日出席しているメンバーと同じ年頃の時、市長と話ができるなんてことは、あり得ないことでした。

今では、市長とお話しできることが度々ありますが、今回のような貴重な場を頂きまして、ありがとうございました。

社員がまちのことをいろいろと考えてくれているのを聞いて、大変心強く思いました。

私も様々な市の会議に出席させていただき、微力ながらまちづくりについていろいろとお話しさせていただいておりますが、今日のようにしっかりと意見を言えるメンバーもあり、私の代わりに会議に出てもらえないかと思っていますところ。

今日のメンバーの話にもあったとおり、駅前の再開発については興味を持っている社員も多いと思いますので、市から提供された情報を社内で共有しまちづくりのお役に立っていければと思っています。

今後も、平塚市と横浜ゴムが一緒になって、魅力あるまちづくり、我々も企業の魅力アップにつなげていけたらと思っています。

そして、「横浜ゴムで働きたい」、「平塚で働きたい」という雰囲気をみんなでつくっていければよいと思っていますので、今後も引き続き、よろしくお願いいたします。

【司会】

ありがとうございました。以上をもちまして、本日のあったかミーティングを終了させていただきたいと存じます。

本日は、お忙しいところ、どうもありがとうございました。